SAJ サバーイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.8

2019.4 月号

SAJ カンボジア視察ツアー

ワタミグループの皆さまが来園！

sajfarm にて集合写真

子どもたちと一緒に食事

子どもたちの夢ボード説明

孤児院にて集合写真

年に一度開催されているワタミグループ社員様向け「ＳＡＪカンボジア視察ツアー」が今年も 2 月 16 日～ 19 日で開催され、31 名が SAJ Farm・孤児院『夢追う子どもたちの家』を来訪されました。プノンペンから SAJ Farm そして、孤児院までの道のりを車窓から見るだけでも、現在のカンボジアの首都と地方の格差を知っていただけたと思います。
孤児院の子どもたちは、日本からお客様が来ることを毎年楽しみにしています。小学校低学年の子どもたちにとって言葉が通じなくても遠慮せずに甘えられる大切な大人だからです。里親様ではなくても、自分を日本から応援してくれる人がいることが励みになり勉強を頑張る子もいます。
孤児院を卒業後、自分で生活し苦労をするようになってから改めて感謝の気持ちを持つ子も多いですが、園で恵まれた生活ができていることへの感謝を忘れないよう指導を続けて参ります。

皆様からの会費・寄附は「1 円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費	一般寄附	指定寄附（使い道を指定する寄附）
会員会費（年額）1 口　12,000 円 法人会費（年額）1 口 120,000 円	用途は指定しないで 金額も自由な寄附	●学校建設寄附 (1) 一口寄附（一口 100,000 円）、(2) 一棟寄附　●ふれあいサポートプラン（一口 12,000 円から） ●食の支援寄附（金額自由）　●孤児院運営寄附（金額自由）　●孤児院運営会費（12,000 円 / 月） ●孤児院里親会費（12,000 円 / 月）　●奨学金寄附（金額自由）　●学校運営寄附（バングラデシュ）（金額自由）

詳細は SAJ 事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告（指定寄附別）

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

1

食の支援

お米支援

コンポンチュナン州14校・ポーサット州14校の子どもたちにお米を配布しました。
（SAJの支援で建設された学校に通う貧しい子どもを対象に、1ヶ月10kgのお米を支援しています。）

ポーサット州　オーヘイ小学校の子どもたち

2

孤児院運営支援

デザインコンテスト応募

「デザインを通じて、カンボジア女性の成功と経済的自立の機会を創出する」ために年に1回開催されている【ドリーム・ガールズ・デザインコンテスト】に今年も園から20名の子どもが作品を応募しました。2次審査に通過した8名がプノンペンで行われた前夜祭と授賞式に招待されました。（交通費・宿泊費は主催者負担）結果はまたご報告させていただきます。（副園長　平江）

プン・パー（高 1）

3

孤児院里親支援

里親様来園

プルン・スダン（高2）の里親様支援をされている小林様ご夫妻が来園されました。
スダンは自分の日々の様子を話したり、進路希望や将来の夢の話をすることができ、久しぶりにお父さんお母さんと会えてとても嬉しそうにしていました。現在、中国にお住まいの小林様から園の子どもたちみんなへ「英語が話せると他の国の方ともコミュニケーションがとれるし、様々な可能性が広がる」とアドバイスをいただきました。（職員　大東）

小林様ご夫妻とスダン（中央）

4

学校運営支援【NDMSC】

理事長講話

バングラデシュ校6周年記念＆体育館の贈呈式開催翌日、生徒たちへ理事長講話を実施しました。生徒たちがどうしても叶えたい夢「教師・医者・キャビアテンダント」など元気に発表し、渡邉理事長からは「夢の7原則」を生徒たちへ話していただきました。夢手帳にメモした7原則をすぐに実践に移します。（校長　古澤）

NDMSC：バングラデシュのナラヤンクル・ドリーム・モデル・スクール＆カレッジ

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/

こちらから

会費・寄附金のお振込み

- 郵便局：00140-5-345903
- 三井住友銀行：蒲田支店（普）4353626　口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。
※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

理事評議員会の報告

第 191 回理事評議員会が 2019 年 2 月 18 日に行われました。議案は下記の通りです

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

■代表理事
渡邉美樹

■理事
鳥井親一、清水和雄、武長彩子、磯野健雄

■業務執行理事
青木茂雄

■評議員
大江光正、清水邦晃、佐藤誠、高橋亮、大城慶正、白柳直美

■監事
片山進平、小田剛志

議案 1：2019 年度 SAJ 事業計画と予算に関する検討と承認

学校建設・孤児院運営・就学支援・食糧支援・就労支援・学校運営とそれぞれの事業に対し、2019年度事業計画および予算の説明がされ、承認をいただきました。

議案 2：新入園児に関する検討と承認

新入園児ロム・マリアについての紹介と、現地での家庭調査の報告がされ、承認をいただきました。現在男子30名・女子34名となりました。

議案 3：奨学金に関する検討と承認

これまでの奨学金貸与実績、および奨学金支援は子ども個人への支援ではなく奨学金対象の子ども全員への支援であることが説明されました。返済義務を設けているが、回収を追いかけることはせず、また、学部の都合で高額になる場合は返済の限度額を設けることも説明がされました。奨学金支援を受けた子どもたちが感謝の気持ちでSAJへ返済することが望ましく、後輩たちへの支援が継続できるよう伝えていくことも説明され、承認をいただきました。

SAJ Farm

2月の ファーム

SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場（農場）として、2010 年にスタートさせた就労支援事業です。

ユーカリの精油を抽出中

ユーカリ精油試作

現在カンボジアは昨年12月から、100日以上降雨がなく長い乾季が続いています。そこでレモングラスの収穫は一旦お休みし、ユーカリの収穫を始めました。レモングラス精油との相性が良い精油ということもあり、3年前より植え付けを試験的に行いました。その後すくすくと育ち、現在5m以上になっています。収穫の適期を迎え、スタッフ一同で木を切り倒し、葉のみを収穫し乾燥させ、レモングラスと同じように蒸留し、精油を抽出しています。

ユーカリはコアラの主食としても有名ですが、葉から取れる精油はミント系の香りがし、脳を刺激し集中力を高めたり、殺菌、抗菌、デオドラント効果など多くの効能を持っています。

いずれは、ユーカリの精油もレモングラスの精油とブレンドしたりして、新たな商品のきっかけにしたいと思っています。（農場長 酒井）

ユーカリの木

食の支援寄附 【お米支援】とは

SAJの支援で建設された学校に通う貧しい子どもを対象に支援をする制度です。

2019年3月現在、972名の子どもたちへ支援しています。

① お米支援がなければ、村の平均的な世帯の食事レベルよりも粗末な食事が恒常的に続くことが想定されること。

② お米支援がなければ、子どもが健全に成長するために必要な食事が十分に与えられないことが想定されること。

③ お米支援を受ける代わりに、子どもを学校に毎日通わせることに保護者が約束できること（学校のある時間に働かせないこと）

④ その家庭がお米支援を受けることに村のだれもが納得できること（不公平感を持たないこと）

この基準に沿ってプノンペン事務所職員が各家庭のモニタリングを行い、該当する子どもへ支援を開始します。★ひと月10kg （1人当たり$4.79）
皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

代表理事メッセージ　ドンノバット

2月2日、バングラデシュの教育省より以下の発表がありました。
「ディプ・モニ教育大臣は、バングラデシュの全ての教育機関で、毎週木曜日に教員と生徒に掃除をさせる新たなプログラムを実行すると宣言しました。」この教育大臣の宣言には、実はSAJが関与しています。
1月下旬、私はバングラデシュのナラヤンクル・ドリーム・モデル・スクール＆カレッジ（以下、NDMSC）に新たに建設した体育館の贈呈式に参加しました。
贈呈式には、生徒、保護者、村人、地域の有力者など1,600人が参加してくれました。そして、スペシャルゲストがディプ・モニ教育大臣でした。大臣は校舎を視察し、生徒と会話し、NDMSCの様々な『夢教育システム』の説明を受け、『Amazing！』と連呼してくれました。拙著『夢に日付を』のノウハウを凝縮した夢手帳（生徒手帳）にも強い関心を持っていただきました。
そうした中、大臣にとって最も強烈な印象だったのは、学校にゴミがひとつも落ちていないことだったようです。バングラデシュでは、残念ながらゴミを道端に捨てるのが普通の習慣ですが、NDMSCでは校内美化を推進し、地域の清掃ボランティアも行っています。
教育大臣が贈呈式に参加したのが1月24日。やり手と噂の大臣はその翌週に冒頭の宣言をしたのです。NDMSCの校内美化活動が、バングラデシュの全学校に広がった瞬間です。

校名に“MODEL”とあるのは、バングラデシュのモデルとなるような学校をつくろうというビジョンを明示したものであり、まさに今、NDMSCはモデル校としてバングラデシュの教育現場を変え始めています。

代表理事　渡邉美樹

※「ドンノバット」はバングラデシュの公用語・ベンガル語で「ありがとう」の意味です。

支援者様メッセージ　松永 紀美子 様

10年程前、ある団体の講演会で渡邉理事長のお話を伺って非常に心を打たれ、私もSAJを応援するひとりになりたいと思ったことがきっかけでした。
現在は小学2年生のクーン・コン君の里親です。私には日本にコン君と同い年の孫が二人いるので、コン君から見れば私は“ばあば”ということです。でもいつも手紙には“ママ”と書いてくれます。そして孤児院では一緒に走り回って遊んだりするので、私はいつまでも若さを保たないといけないのですが…こればかりはとても難しいです。
また、言葉が通じないこともとても不便で、コン君が大きくなったらお互いに英語で話ができるよう、英会話の勉強を始めました。コン君の成長がとても楽しみです。
2018年の夏にも教育支援ツアーへ参加しました。孤児院も70人という大所帯になってきて日々色んな問題が起こることでしょう。でもそこには、子どもたちひとりひとりとしっかり向き合いながら、自分自身も逞しく成長していく職員の皆さんのドラマがある事にも思いを馳せながらカンボジアからの帰途につきました。

里子クーン・コンと松永様

ご支援いただいた寄附

2019年3月度

3月の寄附金合計	21,738,522円
（内訳）	
会員会費	1,595,800円
一般寄附	1,014,961円
指定寄附合計	19,127,761円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方（順不同、敬称略）※法人名、団体名は2018年4月現在のものです。

ワタミ（株）
「ミライザカ」柏店・広島本通店・王子店
「三代目 鳥メロ」江古田店・王子店・尾張一宮東口駅前店
「和民」福生店　「ワタミ手づくり厨房」宇都宮センター

山陽製紙株式会社

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局への持参にて承ります。

今後の予定

4月10日～19日
孤児院
クメール正月一時帰省
4月22日
理事評議員会

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額（2001年度～2017年度）
26億 8,827万8,305円

現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数（2018年3月現在）
90,140人

SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計（2006年度～2017年度）
8,556人

建設した学校の合計（2001年度～2017年度）
268校

ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計（2003年度～2017年度）
11,479人

SAJの建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計（2006年度～2017年度）
99,296人

編集後記

今年もワタミグループの方たち参加のカンボジア視察ツアーが開催されました。沢山の方に、SAJ Farm・夢追う子どもたちの家を訪れていただきました。自分に関心を寄せてくれる人のことを、子どもたちはよく覚えています。里親様とは違う特別な存在として日本のお兄さん・お姉さんが大好きです。来年も沢山の人にカンボジアの今を見ていただけたらと思います。

発行 公益財団法人 School Aid Japan　編集 公益財団法人 School Aid Japan　デザイン ワタミ株式会社　制作部
vol7：2019.4月号

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL：03-5737-2773
FAX：03-5737-2793
Eメール：sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
http://www.schoolaidjapan.or.jp